ビジネスと人権・国際労働シンポジウム

JAL・ANA の機内食と人権

― ロサンゼルスの機内食工場の労働者と、日米の労働組合・弁護士が語る

Serving Injustice: Workers Expose the Hidden Cost of JAL and ANA's Inflight Meals



JAL・ANA に機内食を納める米国の機内食業者フライング・フード・グループ（FFG）。ロサンゼルス国際空港（LAX）に近いイングルウッド市にあるその工場では、組合活動への妨害や、火災・冷蔵室への閉じ込めなど、働く人の権利と安全をめぐる深刻な問題が指摘され、米国の連邦・州・地方の行政機関による違反の指摘や申立てが相次いでいます。

取引先で起きる人権侵害に向き合うことは、いまや日本企業にも求められる国際的なルールです。JAL・ANA はこの問題にどう向き合うべきか。FFG の工場で働く労働者と、日米の労働組合・弁護士が語ります。

特別発言　ナムワン氏（ワーカーライツ・コンソーシャム）

カンボジアの靴工場での労働者の権利侵害につき、取引先企業との対話を通じて解決に至った事例について報告します。

2026年11月16日（月）18:00～

法政大学 市ヶ谷キャンパス 大内山校舎5階 Y506教室

参加費無料　｜　日英通訳あり　｜　要申込（右の QR から）

お申込みはこちら ▶
forms.gle/d7oDUot8bfd5e8bA9

主催：法政大学大学院フェアレイバー研究所

お問い合わせ：弁護士 木下徹郎（TEL 03-3341-3133）

ビジネスと人権・国際労働シンポジウム「JAL・ANA の機内食と人権」

登壇者



伊藤和子
弁護士、ヒューマンライツ・ナウ



木下徹郎
弁護士、日本労働弁護団



菅俊治
弁護士、日本労働弁護団



スーザン・ミナト
UNITE HERE Local 11 共同代表



ゲイリー・デュプレシス
FFG イングルウッド工場の調理担当



ジョーダン・ファイン
UNITE HERE Local 11 リサーチ責任者

特別発言（オンライン）：ナムワン・ウォンサムット（ワーカーライツ・コンソーシャム〔WRC〕）

UNITE HERE Local 11（ユナイト・ヒア ローカル11）とは

米国カリフォルニア州ロサンゼルスとアリゾナ州フェニックスを中心に、ホテル・空港・スタジアムなどで働く約3万2千人を組織する労働組合です。組合員の多くは移民や、ラテン系・アフリカ系・アジア系の労働者です。

2023〜24年にはロサンゼルス、オレンジ郡、アリゾナ州の60以上のホテルでストライキを行って労働協約を勝ち取り、ホテル・空港で働く人の最低賃金を五輪に向けて時給30ドルへ引き上げる市条例（いわゆる「オリンピック賃金」）の実現を主導しました。しかしロサンゼルスのバス市長は、条例の完全実施を数年先送りして、これを後退させました。

FFG の労働者を含むロサンゼルスのホスピタリティ産業の労働者を守ろうとしなかったバス市長に対し、Local 11 は進歩派のニティヤ・ラマン氏を推薦して選挙運動を行い、ラマン氏は11月3日の市長選挙でバス市長を破り、来年1月に就任します。全米では、UNITE HERE は、トランプ大統領の政治に有権者が審判を下した11月3日の選挙で、有権者の組織化に主導的な役割を果たしました。

2016年から FFG のイングルウッド工場（LAX 向けの機内食を製造）の労働者を代表し、安全な職場と公正な労働条件を求めて活動しています。

2026年11月16日（月）18:00〜

法政大学 市ヶ谷キャンパス 大内山校舎5階 Y506教室

参加費無料 ｜ 日英通訳あり ｜ 要申込（右の QR から）

お申込みはこちら ▶
forms.gle/d7oDUot8bfd5e8bA9

主催：法政大学大学院フェアレイバー研究所

お問い合わせ：弁護士 木下徹郎（TEL 03-3341-3133）